



海外標準化動向調査(7月)

令和6年度エネルギー需給構造高度化基準認証推進事業費(我が国の国際標準化戦略を強化するための体制構築)
2024年7月1日

一般財団法人日本規格協会

ピックアップ：風力（関連ニュース番号1,2）

| | | | | | | | |
|------|--|------|--|----|---|----|--|
| トピック | 風力資源評価のためのデュアルスキャンライダー測定に関するガイドライン | | | | | | |
| 推進組織 | DNV | | | | | | |
| 内容 | <table border="1"><tr><td data-bbox="280 491 604 539">ポイント</td><td data-bbox="604 491 2168 619"><ul style="list-style-type: none">・ オフショア風力資源評価 (WRA) 用のデュアル システム構成 (DSL) でスキャンング LIDAR(Light Detection And Ranging) を使用するための広範なガイドラインを発表。</td></tr><tr><td data-bbox="280 619 604 659">背景</td><td data-bbox="604 619 2168 746"><ul style="list-style-type: none">・ 洋上風力施設が沖合に拡大していること、風車のサイズが巨大になり、上空の気象観測が必要になることから、LIDARの利用が気象観測で進んでいる。そのための規格が IECで改定中である。また、IEA Task 52においても議論中。</td></tr><tr><td data-bbox="280 746 604 802">概要</td><td data-bbox="604 746 2168 1265"><ul style="list-style-type: none">・ DNV と Vaisala は、先進的なコラボレーションの一環として、オフショア風力資源評価 (WRA) 用のデュアル システム構成 (DSL) でスキャンング LIDAR を使用するための広範なガイドラインを発表した。デュアルスキャンライダーは、海岸近く（最大 15 km）の洋上風力発電開発の気象観測マストの代わりとして普及しており、洋上風力発電プロジェクトの開発者はこれを用いることにより、計画エリアの風力資源についてさらに包括的なイメージを得ることができる。DSL の大きな利点は、海岸から離れた複数の洋上地点で風速と風向を測定できることである。・ DNV と、気候変動対策のための計測機器と情報の世界的リーダーである Vaisala の専門家が共同で起草した新しいガイドラインの発表は、デュアル スキャン LIDAR の商業化の向上に役立ち、オフショアでのスキャン LIDAR 計測の使用に関する国際エネルギー機関 (IEA) タスク 52 の推奨プラクティスの作成に貢献する。・ IEC風力発電システムの風況評価においては、IEC61400-50シリーズで規格が発効されており、現在、(パート 50-4: 風力測定のための浮体式ライダー システムの使用)が新たに策定中である。</td></tr></table> | ポイント | <ul style="list-style-type: none">・ オフショア風力資源評価 (WRA) 用のデュアル システム構成 (DSL) でスキャンング LIDAR(Light Detection And Ranging) を使用するための広範なガイドラインを発表。 | 背景 | <ul style="list-style-type: none">・ 洋上風力施設が沖合に拡大していること、風車のサイズが巨大になり、上空の気象観測が必要になることから、LIDARの利用が気象観測で進んでいる。そのための規格が IECで改定中である。また、IEA Task 52においても議論中。 | 概要 | <ul style="list-style-type: none">・ DNV と Vaisala は、先進的なコラボレーションの一環として、オフショア風力資源評価 (WRA) 用のデュアル システム構成 (DSL) でスキャンング LIDAR を使用するための広範なガイドラインを発表した。デュアルスキャンライダーは、海岸近く（最大 15 km）の洋上風力発電開発の気象観測マストの代わりとして普及しており、洋上風力発電プロジェクトの開発者はこれを用いることにより、計画エリアの風力資源についてさらに包括的なイメージを得ることができる。DSL の大きな利点は、海岸から離れた複数の洋上地点で風速と風向を測定できることである。・ DNV と、気候変動対策のための計測機器と情報の世界的リーダーである Vaisala の専門家が共同で起草した新しいガイドラインの発表は、デュアル スキャン LIDAR の商業化の向上に役立ち、オフショアでのスキャン LIDAR 計測の使用に関する国際エネルギー機関 (IEA) タスク 52 の推奨プラクティスの作成に貢献する。・ IEC風力発電システムの風況評価においては、IEC61400-50シリーズで規格が発効されており、現在、(パート 50-4: 風力測定のための浮体式ライダー システムの使用)が新たに策定中である。 |
| ポイント | <ul style="list-style-type: none">・ オフショア風力資源評価 (WRA) 用のデュアル システム構成 (DSL) でスキャンング LIDAR(Light Detection And Ranging) を使用するための広範なガイドラインを発表。 | | | | | | |
| 背景 | <ul style="list-style-type: none">・ 洋上風力施設が沖合に拡大していること、風車のサイズが巨大になり、上空の気象観測が必要になることから、LIDARの利用が気象観測で進んでいる。そのための規格が IECで改定中である。また、IEA Task 52においても議論中。 | | | | | | |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">・ DNV と Vaisala は、先進的なコラボレーションの一環として、オフショア風力資源評価 (WRA) 用のデュアル システム構成 (DSL) でスキャンング LIDAR を使用するための広範なガイドラインを発表した。デュアルスキャンライダーは、海岸近く（最大 15 km）の洋上風力発電開発の気象観測マストの代わりとして普及しており、洋上風力発電プロジェクトの開発者はこれを用いることにより、計画エリアの風力資源についてさらに包括的なイメージを得ることができる。DSL の大きな利点は、海岸から離れた複数の洋上地点で風速と風向を測定できることである。・ DNV と、気候変動対策のための計測機器と情報の世界的リーダーである Vaisala の専門家が共同で起草した新しいガイドラインの発表は、デュアル スキャン LIDAR の商業化の向上に役立ち、オフショアでのスキャン LIDAR 計測の使用に関する国際エネルギー機関 (IEA) タスク 52 の推奨プラクティスの作成に貢献する。・ IEC風力発電システムの風況評価においては、IEC61400-50シリーズで規格が発効されており、現在、(パート 50-4: 風力測定のための浮体式ライダー システムの使用)が新たに策定中である。 | | | | | | |

出所: [DNV](#)及び[IEC](#)などをもとに作成

ピックアップ：風力（関連ニュース番号 4）

トピック

2023年の世界風力タービン受注が過去最高を記録

推進組織

Wood Mackenzie

内容

ポイント

- 世界の風力タービンの受注は2023年に過去最高を記録し、年間155ギガワット（GW）が調達され、2022年から16GW増加した。中国の開発業者は2023年に約100GWを発注したが、これは過去最大の年間受注量であり、同国における90GW以上の受注が連続して記録される。

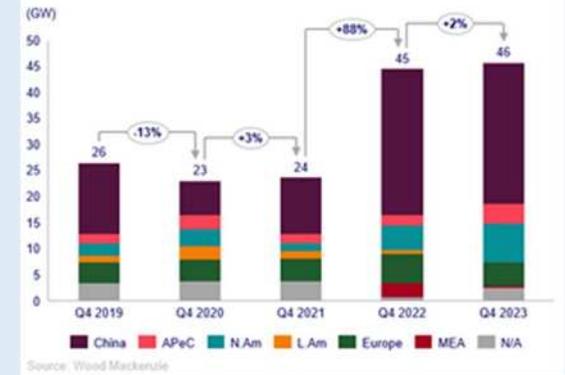
背景

- 成長の大部分は、中国の陸上風力基地からの需要による。ただし、西側市場も2023年に記録的な受注レベルに貢献している。

概要

- 世界の風力タービンの受注は2023年に過去最高を記録し、年間155ギガワット（GW）が調達され、2022年から16GW増加した。ウッド・マッケンジーの「世界の風力タービン受注分析：2024年第1四半期」レポートによると、中国と欧米の両市場が受注記録を更新したため、年間投資額は推定830億米ドルに達した。報告書によると、2023年第4四半期の世界の受注量は前年比2.5%増加し、通年では12%増加した。
- 中国の開発業者は2023年に約100GWを発注したが、これは過去最大の年間受注量であり、同国における90GW以上の受注が連続して記録されることになる。この成長の大部分は、中国の陸上風力基地からの需要によるものだ。
- 西側市場は2023年に記録的な受注レベルに貢献し、2023年には記録破りの55GWを追加し、特に欧州（19GW）と北米（17GW）の前年比の勢いが目立った。
- 「第4四半期の中国以外での記録的な輸送量と、2023年を通して北米での受注能力がほぼ倍増したことで、西側市場の市場回復が続き、受注は前年比26%増加しました」とウッド・マッケンジーのグローバル再生可能エネルギー研究担当副社長、ルーク・レwandウスキー氏は述べた。

Global firm orders by region, total, Q4 2023



出所: Wood MackenzieのWebサイトから作成

【風力】関連記事詳細 (1/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|-------------------------------|----------|--|--|
| 1 | 国際 | IEC/TC88(風力発電システム)で開発される規格リスト | 2024/6/1 | <p>IEC/TC88(風力発電システム)は、風力発電システムの設計、品質保証、および認証のための技術的側面の基礎を提供することを意図して、風力タービン、陸上および洋上風力発電所、およびエネルギーが供給される電力システムとの相互作用を含む風力エネルギー生成システムについて規格開発を行っている。</p> <p>TC88においては、5つのワーキンググループ15のプロジェクトチームの構成により、IEC61400シリーズとして規格開発が進められており、2024/5/30現在、発行済みの有効な規格は53件。 開発中の規格は25件。発電システム本体や部品設計に関わる規格(IEC61400-1~6)を初めとして、多岐に渡っている。</p> <p>2024年度に新規発行予定のIEC規格(TS:技術仕様書は除く)は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IEC 61400-3-2 (風力発電システム - パート 3-2: 浮体式洋上風力タービンの設計要件) • IEC 61400-4 (風力発電システム - パート 40: 電磁両立性 (EMC) - 要件と試験方法) • IEC 61400-8 (風力発電システム - パート 8: 風力タービンの構造コンポーネントの設計) • IEC 61400-9 (風力発電システム-パート 9 : 風力タービンの確率的設計対策) • IEC 61400-15- 1 (風力発電システム - パート 15- 1 :風力発電所の敷地適合性入力条件) • IEC 61400-24 (風力発電システム - パート 24: 雷保護) • IEC 61400-26-4 (風力発電システム - パート26-4: 風力発電システムの信頼性) • IEC 61400-28 (風力発電システム - パート28:風力発電資産のライフサイクル管理と寿命延長) • IEC 61400-50-4 風力発電システム - パート 50-4:風力測定のための浮体式ライダー システムの使用) <p>なお、ISOにおける風力発電に関連規格としては、以下の規格が発行されている。</p> <p>ISO/TC 108/SC 5/WG 16 (風力タービンの状態監視と診断)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO 16079-1:2017(風力タービンの状態監視と診断 - パート 1: 一般ガイドライン) • ISO 16079-2:2020(風力タービンの状態監視と診断 - パート 2: ドライブトレインの監視) <p>ISO/TC8(船舶と海洋技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO 29400:2020(船舶および海洋技術 - 洋上風力エネルギー - 港湾および海洋運営) • ISO 29404:2015(船舶と海洋技術 - 洋上風力エネルギー - サプライチェーンの情報フロー) | IEC https://www.iec.ch/dyn/www/?p=103:7:511359817673177:::FSP_ORG_ID:1282 |

【風力】関連記事詳細 (2/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|------------|--|--|
| 2 | ドイツ | DNVとVaisalaが風力資源評価のためのデュアルスキャンライダー測定に関するガイドラインを発表 | 2024/03/05 | DNVとVaisalaは、先進的なコラボレーションの一環として、オフショア風力資源評価(WRA)用のデュアルシステム構成(DSL)でスキャンングLIDARを使用するための広範なガイドラインを発表した。デュアルスキャンライダーは、海岸近く(最大15km)の洋上風力発電開発の気象観測マストの代わりとして普及しており、洋上風力発電プロジェクトの開発者はこれを用いることにより、計画エリアの風力資源についてさらに包括的なイメージを得ることができる。DSLの大きな利点は、海岸から離れた複数の洋上地点で風速と風向を測定できることである。DNVと、気候変動対策のための計測機器と情報の世界的リーダーであるVaisalaの専門家が共同で起草した新しいガイドラインの発表は、デュアルスキャンLIDARの商業化の向上に役立ち、オフショアでのスキャンLIDAR計測の使用に関する国際エネルギー機関(IEA)タスク52の推奨プラクティスの作成に貢献する。 | DNV https://www.dnv.com/news/dnv-and-vaisala-introduce-guideline-s-on-dual-scanning-lidar-measurements-for-wind-resource-assessments/ |
| 3 | イギリス | 浮体式風力発電の港への投資への道筋を示す | 2024/03/13 | イギリスの洋上風力研究機関である、オフショア再生可能エネルギーカタパルト(ORE Catapult)の浮体式洋上風力発電センター・オブ・エクセレンスが発表した報告書では、英国における浮体式洋上風力発電の導入を支援するために必要な重要な港湾インフラと製造センターを開発するための将来の可能性のある道筋が概説されている。この報告書は、浮体式風力発電に関連して港湾インフラが現在直面している課題の評価と、それらの課題を克服し、英国が提供する経済的可能性を活用できるようにするための選択肢の両方を示している。主要なインフラ投資の確保に関連するいくつかの主要な課題を概説し、2030年以降に浮体式風力発電の導入を支援するために必要な民間部門の多額の投資を促進するために使用できる可能性のある経路とモデルを示している。また、英国の浮体式風力発電に関連する英国の港湾インフラおよび製造施設への投資に対する既存の障壁を特定し、国際的な観点から英国の港湾および共同製造施設の競争力に影響を与える主要な要因を示し、英国における大規模な港湾投資に伴うリスクを軽減する方法を開発し、実施するための選択肢を示している。 | ORE Catapult https://ore.catapult.org.uk/press-releases/new-report-provides-pathways-to-floating-wind-port-investment/ |

【風力】関連記事詳細 (3/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|------------|--|--|
| 4 | 国際 | 2023年の世界風力タービン受注が過去最高を記録 | 2024/03/18 | 世界の風力タービンの受注は2023年に過去最高を記録し、年間155ギガワット（GW）が調達され、2022年から16GW増加した。ウッド・マッケンジーの「世界の風力タービン受注分析：2024年第1四半期」レポートによると、中国と欧米の両市場が受注記録を更新したため、年間投資額は推定830億米ドルに達した。報告書によると、2023年第4四半期の世界の受注量は前年比2.5%増加し、通年では12%増加した。中国の開発業者は2023年に約100GWを発注したが、これは過去最大の年間受注量であり、同国における90GW以上の受注が連続して記録されることになる。この成長の大部分は、中国の陸上風力基地からの需要によるものだ。西側市場は2023年に記録的な受注レベルに貢献し、2023年には記録破りの55GWを追加し、特に欧州（19GW）と北米（17GW）の前年比の勢いが目立った。「第4四半期の中国以外での記録的な輸送量と、2023年を通して北米での受注能力がほぼ倍増したことで、西側市場の市場回復が続き、受注は前年比26%増加しました」とウッド・マッケンジーのグローバル再生可能エネルギー研究担当副社長、ルーク・レワンドウスキー氏は述べた。 | Wood Mackenzie https://www.woodmac.com/press-releases/2024-press-releases/record-highs-for-global-wind-turbine-order-intake-in-2023/ |
| 5 | 欧州 | EcoVadis、Wind Europe、および大手風力産業団体が「風力エネルギーイニシアチブ」を立ち上げ | 2024/03/21 | EcoVadis、WindEurope、および5つの主要な風力エネルギー企業（ENGIE、日立エナジー、シーメンス・ガメサ、Statkraft、Vestas）は、「風力エネルギーイニシアチブ」の立ち上げを発表した。このイニシアチブは、取引パートナー間の強力な協力を促進し、バリューチェーン全体にプラスの影響を拡大することで、持続可能な慣行の導入を加速することを目的としている。「風力エネルギーイニシアチブ」の立ち上げにより、風力エネルギー業界の主要企業が力を合わせ、共通の持続可能なビジネス慣行を特定し、採用することになる。このイニシアチブの目的は、サプライチェーンの持続可能性に永続的でプラスの影響を与えることである。風力エネルギー イニシアチブは次の戦略目標を設定している。炭素排出量の削減を優先し、再生可能エネルギーの統合を重視し、循環型慣行を採用することにより、気候変動と闘う世界的な取り組みに対する風力産業の貢献を強化する。風力エネルギーのサプライチェーンに関わるすべての人々の幸福と公正な待遇の向上に努める。風力エネルギー分野に関連する活動によって影響を受ける生態系を保護するために、生物多様性保全を継続的に推進する。 | Wind Europe https://windeurope.org/newsroom/press-releases/ecovadis-windeurope-and-leading-wind-industry-organisations-launch-wind-energy-initiative/ |

【風力】関連記事詳細 (4/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--|------------|--|--|
| 6 | アメリカ | アメリカ財務省は、エネルギーコミュニティへの洋上風力発電施設に関する追加ガイダンスを発表 | 2024/03/22 | 米国財務省と内国歳入庁 (IRS) は、クリーン エネルギー プロジェクトおよび施設に対するインフレ抑制法に基づくボーナスに関する追加情報を提供するガイダンスを発表した。このボーナスは、エネルギーコミュニティボーナス税額控除における洋上風力発電の適格性を拡大するガイダンスである。具体的には、このガイダンスでは、洋上風力発電施設が、その明との関連施設を追加の資産とすること、つまり洋上風力発電プロジェクトの所有者が所有し、対象港に設置されている監視制御およびデータ収集システム (SCADA) 機器を資産に帰属させることも許可される。この変更は、港の陸上 SCADA 機器が洋上風力発電プロジェクトにとって極めて重要であり、洋上風力発電プロジェクトはプロジェクトの期間中にこれらの港で多額の投資を行い、雇用を創出するという事実を反映しており、これがエネルギー コミュニティボーナスの目標に合致する。さらに、このガイダンスでは、プロジェクトに複数の相互接続ポイントがある場合、このガイダンスに基づいて、これらのプロジェクトはエネルギー コミュニティ ステータスを決定する目的で、それらの相互接続ポイントまでの陸上電力調整機器を参照できることを明確にした。 | アメリカ財務省 https://home.treasury.gov/news/press-releases/jy2203 |
| 7 | アメリカ | アメリカ政府は7番目の洋上風力発電プロジェクトを承認 | 2024/03/26 | 内務省はサンライズ・ウィンド洋上風力発電プロジェクトを承認したことを発表した。これは、国内で承認された商業規模の洋上風力発電プロジェクトとしては7件目となる。これら7件のプロジェクトは、8ギガワット以上のクリーンで再生可能なエネルギーを供給し、およそ300万世帯に電力を供給する可能性があり、2030年までに30ギガワットの洋上風力発電容量を展開するという政権の目標に貢献する。「BOEMとパートナーは、2030年までに30ギガワットの洋上風力発電容量を承認するというビジョンの実現に引き続き注力する」と海洋エネルギー管理局局長エリザベス・クライン氏は述べた。「ここ数週間だけでも、政権は、大統領インフレ抑制法のエネルギーコミュニティ税額控除ボーナスの対象となる洋上風力発電プロジェクトの道筋を拡大するためのガイダンスを発行し、国内初の商業規模の洋上風力発電プロジェクトの完了を祝い、メキシコ湾で2件目の洋上風力発電販売を提案し、メイン湾で初の風力発電地域を確定させ、大統領の超党派インフラ法を通じて、洋上風力発電を支援する港湾プロジェクトを含む港湾助成金にさらに4億5000万ドルが利用可能であることを発表した」。 | アメリカ内務省 https://www.doi.gov/press-releases/biden-harris-administration-approves-seventh-offshore-wind-project |

【風力】関連記事詳細 (5/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) | |
|----|-------|----------------------------------|------------|---|--------------------------------|---|
| 8 | 欧州、中国 | EU、新たな外国補助金規制に基づき中国の風力タービンの調査を開始 | 2024/04/09 | <p>欧州委員会は、新しい外国補助金規制に基づき、中国の風力タービン供給業者に対する調査を開始すると発表した。スペイン、ギリシャ、フランス、ルーマニア、ブルガリアの風力発電所の開発条件を調査している。</p> <p>マルグレーテ・ベステアール副委員長は次のように述べた。</p> <p>「EU委員会は外国補助金規制に基づく調査を開始しており、外国企業が公共入札で不当に有利な立場に置かれていると疑われるたびに、調査を進める。新たな調査を発表し、補助金を受けた中国の風力タービンの過剰生産能力はEUの競争力にとって危険であるだけでなく、EUの経済安全保障も危うくしている。EUは太陽光発電製造産業を失った過ちを繰り返してはならない。他方、サプライチェーンに投資したり、調査を行ったり、新しいツールを開発したりすることは、中国の成功を制約するものではないということ、これらは、我々の経済関係の公平性を回復するためのものであり、誰もが成功することを歓迎する。誰もがヨーロッパと貿易することを歓迎する。しかし、ルールに従わなければならない。」</p> | European Commission (EC:欧州委員会) | https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/speech_24_1927 |
| 9 | 国際 | 世界の風力レポート 2024 | 2024/04/16 | <p>風力発電産業の国際業界団体である、Global Wind Energy Council (GWEC:世界風力エネルギー協議会)の今年の世界風力レポートによると、世界の風力産業は2023年に過去最高の117GWの新規容量を導入し、新規風力エネルギーにとって過去最高の年となった。不安定な政治的およびマクロ経済的環境にもかかわらず、風力産業は、2030年までに再生可能エネルギーを3倍にするという目標を歴史的に採択したCOP28に表れているように、政治的野心の高まりに牽引されて加速成長の新しい時代を迎えている。</p> <p>2023年は陸上風力発電容量が史上最高の年となり、初めて年間100GWを超え、合計106GWとなり、前年比54%の成長を示した。2023年は洋上風力発電設備の設置総数が10.8GWとなり、史上2番目に多い年となった。世界の累計風力発電容量は2023年に初めて1TWの節目を突破し、前年比13%増で現在は1021GWとなっている。</p> <p>新規風力発電設備のトップ5市場 - 中国、米国、ブラジル、ドイツ、インド・中国は75GWの新規設備を稼働させ、世界総量の約65%を占め、新記録を樹立した。中国の成長はアジア太平洋地域にとって前年比106%の成長という記録的な年を支えた。ラテンアメリカも2023年に記録的な成長を遂げ、前年比21%の成長を記録した。その牽引役となったのはブラジルの4.8GWの新規設置で、これは世界第3位となった。アフリカと中東の風力発電設備は2022年と比較して182%増加。</p> | GWEC - 世界風力エネルギー協議会 | https://www.gwec.net/global-wind-report-2024/ |

【風力】関連記事詳細 (6/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|-----------|--|------------|---|---|
| 10 | アメリカ、イギリス | 米国における浮体式風力発電技術に対する英国の革新的な支援を目指す | 2024/04/18 | <p>米国で拡大する浮体式洋上風力発電市場を支える技術を開発する革新的な英国企業のために、米国市場を拡大できるユニークなプロジェクトが開始される。</p> <p>「英国・米国浮体式洋上風力発電サプライチェーンイノベーション二国間（FLOWB）」プログラムは、英国の洋上風力の研究機関であるORE CatapultとInnovate UKが、メイン大学やNREL（国立再生可能エネルギー研究所）などの米国パートナーと連携して実施する。両者は協力して、輸出可能な技術を開発する英国企業が米国の浮体式風力発電プラットフォーム開発企業と提携し、最大150万ポンドの資金援助を受けられるように支援する。ORE Catapult、NREL、メイン大学は、英国企業が本件に取り組む最適な4つの新たな技術革新の課題を特定した。競争プロセスを通じて最大5社が選ばれ、それぞれ30万～50万ポンドの助成金と18か月間のORE Catapultからのカスタム技術サポートが提供される。選ばれた企業は、米国のパートナーと協力して、新しい革新的な技術を開発するか、テストおよびデモンストレーションプロジェクトで使用できる既存の技術を適応させる。</p> | ORE Catapult https://ore.catapult.org.uk/press-releases/new-uk-us-collaboration-targets-innovative-uk-support-for-floating-wind-technology-in-the-united-states/ |
| 11 | フランス | 風力発電量の年々変動 - 世界とヨーロッパの推計を発表 Eoltech | 2024/04/18 | <p>風力および太陽光に関するフランスのコンサルティング会社Eoltechは、「World & Europe Onshore Wind Power Portfolio-Interannual variation of wind power production A 15-year overview (2008-2023)」(世界とヨーロッパの陸上風力発電ポートフォリオ風力発電量の経年変化15年間の概要 (2008年～2023年))を公開。</p> <p>ヨーロッパおよび世界規模で、風力資源の年々の変動はどの程度になると予想するか、という命題に対して irec インデックス エネルギー指標を使用して、世界中の 300 以上の地域で実行された分析の結果が確認された。世界中で稼働している風力発電所は、多種多様な風況にさらされている、地域によって年ごとに大きな変動がある。ポートフォリオ・エネルギー指標を得るために、風力資源の変動から風力資源の変動から予想される風力発電所のグローバル・ポートフォリオを欧州を中心に焦点を当てた推計がなされた。</p> | Eoltech (注) 当社はコンサルティング企業 https://www.eoltech.fr/media/pdfs/202403_Eoltech_Global_Portfolio_Energy_Index.pdf |

【風力】関連記事詳細 (7/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|---------|--------------------------------|------------|--|--|
| 12 | オーストラリア | オーストラリアのニューカッスル港、洋上風力発電への参入を希望 | 2024/04/19 | <p>洋上風力産業向けのニュースサイトである、OffshoreWIND.bizは、次のように伝えている。</p> <p>「オーストラリアのニューカッスル港は、必要な投資を行えば、ハンター沖合風力発電地帯およびオーストラレーシア全域における浮体式洋上風力発電プロジェクトの開発のあらゆる段階に対応できることが、同港の委託による調査で明らかになった。1,854 km²のハンター洋上風力発電ゾーンエリアは、浮体式洋上風力発電技術を活用した5GWの洋上風力開発に対応できるよう指定されており、ニューカッスル港（PON）の深い喫水の航行水路、利用可能な開発地域、橋梁インフラの欠如を考慮すると、同港は同地域での浮体式風力発電の展開を支援するための最有力候補であることが調査で示されている。調査では、投資と適切な利害関係者との協議により、ニューカッスル港は、マーシャリング、組み立て、ステージング、運用と保守を含むさまざまな機能で、ニューサウスウェールズ州（NSW）とより広いオーストラレーシア地域の浮体式風力発電産業をサポートできる物理的特性を備えていることが示された。この戦略的な開発により、この港はオーストラレーシア地域の浮体式風力発電プロジェクトの中心拠点となるだけでなく、ニューサウスウェールズ州、ニュージーランド、ビクトリア州の指定および将来の風力発電開発地域に戦略的に近いことから、浮体式および固定式風力発電開発の両方のOEM（相手先ブランド製造会社）を誘致する可能性もあると、この調査は述べている。」</p> | OffshoreWIND.biz https://www.offshorewind.biz/2024/04/19/australias-port-of-newcastle-wants-in-on-offshore-wind/ |
| 13 | アメリカ | アメリカは新たな5年間の洋上風力発電リース計画を発表 | 2024/04/24 | <p>デブ・ハーランド内務長官は、2028年までに最大12件の洋上風力エネルギー候補地のリースを含む、新たな5年間の洋上風力リーススケジュールを発表した。海洋エネルギー管理局（BOEM）による今後の洋上風力エネルギー開発は、今後5年間で大西洋、メキシコ湾、太平洋、および米国領土沖の海域で予定されている。スケジュールには、2024年に4件、2025年と2026年にそれぞれ1件、2027年に2件、2028年に4件の洋上権利リースが含まれている。これまでに、同省は洋上風力発電プロジェクトによる10ギガワット以上のクリーンエネルギーを承認している。また、プロジェクト労働協定の利用促進、労働力のトレーニング強化、国内サプライチェーンの強化、部族、漁業、恵まれないコミュニティ、海洋利用者との関わり強化を通じて、持続可能な洋上風力産業を成長させる措置も講じている。</p> <p>デブ・ハーランド長官は以下のように述べた。「スケジュールを定期的に発行することで、長期リースポートフォリオへの取り組みを示すとともに、将来の候補地でのリースが検討されている地域の利害関係者に事前通知し、部族、州、地方自治体、利益団体、学術機関、非営利団体、漁業、連邦政府機関、その他の利害関係者による計画調整を促進する。」</p> | アメリカ内務省 https://www.doi.gov/pressreleases/secretary-haaland-announces-new-five-year-offshore-wind-leasing-schedule |

【風力】関連記事詳細 (8/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--|------------|---|---|
| 14 | アメリカ | カリフォルニア・コミュニティ・パワーとCADEMOが洋上風力に関するMOUを締結 | 2024/05/02 | 9つのカリフォルニア・コミュニティ・アグリゲーター（「CCA」）に代わって共同電力調達を実施する共同権限機関であるカリフォルニアコミュニティパワー（「CC Power」）と、カリフォルニア沖で初となる60MWの浮体式洋上風力発電プロジェクトを開発するCADEMOは、CADEMOのプロジェクトの推進を促進するための覚書（「MOU」）を締結した。このMOUは、カリフォルニア州初の洋上風力発電プロジェクトであるCADEMOプロジェクトの開発を支援するために、CC PowerとCADEMOの協力関係を確立することを目的としている。このプロジェクトは、カリフォルニア州領海内のロンポック近郊のヴァンデンバーグ宇宙軍基地沖に建設される。2028年の商業運転開始を目標としており、カリフォルニア州沖の連邦政府リース海域で提案されている他の洋上風力発電プロジェクトよりも数年早く稼働を開始することになる。このプロジェクトには合計60MWのタービン4基が含まれ、年間約200GWhのゼロエミッション再生可能エネルギーを生産する予定である。CADEMOは地元の部族、労働組合、労働力開発機関と広範囲に渡って地域的な関与を行ってきた組織である。国内初の商業用浮体式風力発電プロジェクトとして、CADEMOは環境管理と利害関係者関係のベストプラクティスを開発し、カリフォルニアの洋上風力産業に必要なサプライチェーンを構築する。CC Power と CADEMO は、CC Power の CCA メンバーと協力して、コミュニティの利害関係者とのセッションを促進し、さまざまな地域コミュニティメンバーの視点をプロジェクト開発に取り入れることで、CADEMO プロジェクトが「適切に構築」されるように地域コミュニティと連携していく。 | California Community Power https://communitypower.org/ca-community-power-cademo-mou/ |
| 15 | アメリカ | 米国のクリーンエネルギー業界が第1四半期にマイルストーンと力強い成長を報告 | 2024/05/07 | アメリカのクリーンエネルギー産業の業界団体であるアメリカクリーンパワー協会（ACP）は、米国の公益事業規模の太陽光、風力、蓄電部門が2024年第1四半期に合計5,585メガワット（MW）の新規容量を追加し、前年同期の設置量と比較して28%増加したことを発表した。ACP の新しい「クリーンパワー四半期市場レポート 2024 年第 1 四半期」によると、業界は第 1 四半期に重要なマイルストーンを達成し、連邦海域での最初の洋上風力発電プロジェクトは 132 MW のクリーンかつ信頼性の高い電力を送電網に供給した。「2024年第1四半期は、その年のペースを決定づけ、障壁を打ち破り続ける業界とクリーンエネルギーソリューションの需要の高まりを強調しました」と、ACPの副社長は述べた。 | アメリカクリーンパワー協会 https://cleanpower.org/news/mark-et-report-2024-q1/ |

【風力】関連記事詳細 (9/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|------------|---|---|
| 16 | イギリス | スコットランドのデータは英国の世界有数のオフショアデータリソースに統合され、ネットゼロの推進に貢献 | 2024/05/14 | <p>クラウン エステート (CE) とクラウン エステート スコットランド (CES)間の合意に従い、海洋データ交換プラットフォームである、Marine Data Exchangeは、スコットランド海域まで拡大された。Marine Data Exchangeを通じて、洋上風力、潮力、波力エネルギー、海底ケーブルなど、さまざまな業界からの比類のない情報のほか、研究および証拠プロジェクトからのデータにアクセスできる。</p> <p>スコットランドのデータが組み込まれたことで、英国全土のデータをクラウン・エステートが運営する他の洋上風力発電イニシアチブに取り込むことができ、ネットゼロへの道のりを加速するのに役立つ。例えば洋上風力発電イニシアチブとしては、洋上風力発電の持続可能な開発のためのデータと証拠の収集を可能にするオフショア風力エビデンス&チェンジ (OWEC) プログラムと、オフショア風力発電の最新のガイダンスやベストプラクティス文書を含むデータと情報への単一アクセスポイントをサポートするオンラインハブであるオフショア風力エビデンス&ナレッジハブ (OWEKH) が含まれる。</p> | Crown Estate Scotland https://www.crownestatescotland.com/news/scottish-data-integrate-uk-world-leading-offshore-data-resource-help-drive-net-zero |
| 17 | イギリス | 英国の次世代スーパータービン開発を加速するため、洋上風力研究施設に投資 | 2024/05/14 | <p>ORE Catapultの国立再生可能エネルギーセンターで、世界最先端の風力タービンプレードとドライブ・トレインのテスト資産が開発され、英国の洋上風力の成長に大きな弾みがつくことが期待される。</p> <p>英国を洋上風力の技術開発の最前線に維持するための野心的な計画が承認され、UKRIが洋上再生可能エネルギー (ORE) カタパルトに8,560万ポンドの資本資金を提供し、試験施設の拡張とアップグレードを行い、英国における次世代の風力タービンの進化を可能にすることが発表された。</p> <p>最大 150 m のブレードと最大 23 MW のドライブ・トレインのテスト用に設計された研究開発施設は、ORE Catapult のテストとデモンストレーションに関する広範な専門知識と組み合わせることで、タービンメーカーが英国での技術開発を加速し、リスクを軽減し、信頼性を高めて、より大型で効率的なマシンの新波を実現できるようにする。新しい施設により、テスト、検証、認証を通じてタービンの製品開発が迅速化され、導入が最低 8 か月早まることで 250 万トンの CO2 排出が防止されると期待されている。</p> | ORE Catapult https://ore.catapult.org.uk/press-releases/86m-investment-in-offshore-wind-research-facilities-to-accelerate-uk-development-of-next-generation-of-super-turbines/ |

【風力】関連記事詳細 (10/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------------|--------------------------------------|------------|--|---|
| 18 | フランス | フランス、世界初の商業規模の浮体式洋上風力発電オークションの採択者を発表 | 2024/05/16 | <p>フランスは、世界初の商業規模の浮体式洋上風力発電オークションとなる、250MW 南ブルターニュ浮体式洋上風力発電オークションの採択者を発表した。これは、浮体式洋上風力発電技術にとって大きな節目である。</p> <p>これまで、ヨーロッパでは小規模なパイロット プロジェクトとデモンストレーション プロジェクトしか構築されていなかった。この発表により、浮体式洋上風力発電は商業化と大規模導入に向けて大きな一歩を踏み出した。浮体式洋上風力発電所の固定価格買い取り制度を利用した商業規模の入札を国が開催したのはこれが初めてである。</p> <p>WindEurope の最高政策責任者であるピエール・タルディウ氏は次のように語った。「浮体式洋上風力発電は今後も継続し、大規模プロジェクトにスケールアップする時が来ている。フランスでのオークションは、浮体式洋上風力発電技術の歴史において画期的な出来事であり、これにより、フランスは浮体式洋上風力発電の主要国になった。」</p> <p>今回の、落札価格は 86 ユーロ/MWh であった。ヨーロッパでは現在、小規模な実証プロジェクトとパイロット プロジェクトのみが設置されており、合計すると 200 MW 強になる。特に目立つのは、英国の Kincardine と Hywind Scotland (それぞれ 30 MW)、ポルトガルの WindFloat Atlantic (25 MW)、ノルウェーの Hywind Tampen (95 MW) の 4 つのプロジェクトである。</p> | フランス政府 https://windEurope.org/news/france-announce-winners-of-worlds-first-commercial-scale-floating-offshore-wind-auction/ |
| 19 | ノルウェー、イギリス | イングランド東部とノルウェーが洋上風力発電で提携 | 2024/05/23 | <p>イースト・オブ・イングランド・エナジー・グループ (EEEGR) とノルウェー・オフショア・ウィンド (NOW) は、ノルウェーとイングランド東部のサプライチェーン間の連携を強化するための覚書に署名した。</p> <p>EEEGRとNOWはどちらも、洋上風力発電における世界トップクラスのサプライチェーンの開発に注力し、かつ、この 2 つの組織は北海を共有しており、それぞれ異なる強みを持っている。ノルウェー オフショア ウィンドは、英国をヨーロッパで最も魅力的な洋上風力発電市場と見ており、メンバーを英国のプロジェクトに参加させるための専用のワーキング グループを立ち上げた。</p> <p>「イングランド東部は、ヨーロッパ最大の市場における主要な洋上風力発電拠点の一つであり、北海はノルウェーとの共通海域であるため、この地域の業界との連携を強化することは、400社近くの会員企業にとって有益だ。」と、アルヴィド・ネッセ氏は語る。イングランド東部は、英国の主要な洋上風力発電拠点の 1 つとして浮上しており、大手開発会社がこの地域に拠点を置いており、ノーフォークやイースト アングリアなどの大規模な洋上風力発電プロジェクトが開発中である。さらに、この地域は強力なサプライチェーンの本拠地であり、グレート ヤーマス港はノーフォーク洋上風力発電地帯の設置拠点、およびダッジョン およびシェリンガム ショアの O&M 拠点となっている。</p> | Norwegian Offshore Wind https://www.norwegianoffshorewind.no/news/east-of-england-and-norway-team-up-on-offshore-wind |

【風力】関連記事詳細 (11/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|-------|--|------------|--|---|
| 20 | デンマーク | ヴェスタス、建設段階の風力発電のCO2削減にむけ持続可能な航空燃料をテストへ | 2024/05/23 | <p>デンマークの、世界的な風力発電機的设计、製造、販売会社であるヴェスタスは、2024年にバルト海のバルティックイーグル風力発電所で持続可能な航空燃料（SAF）を試験的に導入する。</p> <p>この試験プロジェクトでは、ヴェスタスの技術者とジャッキアップ船の乗組員が、洋上風力タービン50基の建設段階中に、SAFで部分的に動力を得たヘリコプターを使用してバルティックイーグル風力発電所まで移動する。</p> <p>パイロットプロジェクトは2024年9月まで実施される予定であり、ヘリコプターサービスプロバイダーのHeliServiceは、DCCとShell Aviation Denmark A/Sが提供する約40%のSAFで飛行するLeonardo Spaのヘリコプターを使用する。40%のSAFの混合率は、現在許可されている最高の混合率に近く、洋上風力発電所の建設段階の全体にわたって、これほど高い混合率のSAF燃料ヘリコプターが使用されるのは初めてである。</p> | Vestas https://www.vestas.com/en/media/company-news/2024/vestas-to-test-sustainable-aviation-fuel-c3985693 |



海外標準化動向調査(12月)

令和6年度エネルギー需給構造高度化基準認証推進事業費(我が国の国際標準化戦略を強化するための体制構築)
2024年12月1日

一般財団法人日本規格協会

ピックアップ：風力（関連ニュース番号5）



トピック

イギリス政府、陸上風力産業タスクフォースを設置

推進組織

イギリス政府

内容

ポイント

- 陸上風力発電産業タスクフォースは、2030年以降に陸上風力発電の導入を加速するために必要な措置を特定し、実行する。
- タスクフォースは、政府、業界、規制当局、その他の関連団体の主要組織を集め、2030年の導入目標を達成するために必要な陸上風力発電の施策を推進する。

背景

- イギリスの新政権は、風力発電の導入拡大に向けた各種の新政策を実施している。

概要

- 2030年までに陸上風力発電の導入を大幅に増やし、英国をクリーンエネルギー大国にすることは、イギリス新政権にとって主要ミッションの1つになっている。
- 陸上風力発電産業タスクフォースは、2030年以降に陸上風力発電の導入を加速するために必要な措置を特定し、実行するために設立された。
- タスクフォースは、政府、業界、規制当局、その他の関連団体の主要組織を集め、2030年の導入目標を達成するために必要な陸上風力発電の施策を推進する。タスクフォースの目的は次のとおり。
- ①陸上風力発電開発者が直面する導入障壁を解消：具体的には、陸上風力発電プロジェクトの効率的かつ費用対効果の高い建設と運用を妨げている財務、規制、または政策上の課題がどこにあるかを特定する。
- ②持続可能性の確保：陸上風力発電プロジェクトが地域環境や電力システム全体に及ぼす可能性のある影響を検討する。
- ③利益を獲得する：継続的なコスト削減を促進し、英国のサプライチェーン、雇用、スキル、イノベーションへの投資を確実にする機会を特定する。
- ④行動へのコミットメント：システム全体の関連団体を結集してコンセンサスを確立し、障壁を取り除き、持続可能性を確保し、利益を獲得するために必要な行動について合意する。
- タスクフォースは発足から4～6ヶ月間検討を行い、その後、タスクフォースは最終報告書を公表し、コミットメントを提示する。完了後、タスクフォースは実行機関に移行し、目的、範囲、ガバナンスを再設定し、実行のための「職務権限」を検討する。

出所：イギリス政府をもとに作成

ピックアップ：風力（関連ニュース番号15）

トピック

浮体式洋上風力発電プロジェクトの世界的なパイプラインは引き続き拡大

推進組織

RenewableUK

内容

ポイント

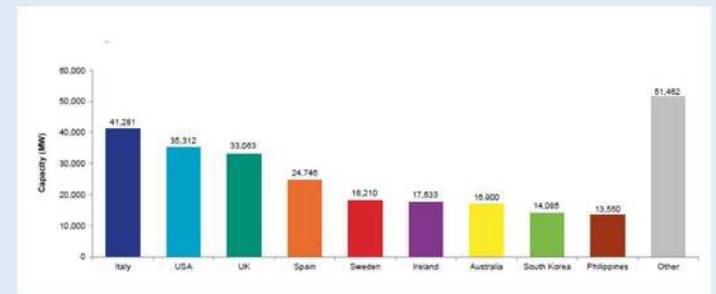
浮体式洋上風力発電プロジェクトの世界的なパイプラインは過去12か月間で244ギガワットから266GWに拡大

背景

- 欧州を中心に浮体式洋上風力の実証プロジェクトが次々始まっている。

概要

- 浮体式洋上風力発電プロジェクトの世界的なパイプラインは過去12か月間で244ギガワットから266GWに拡大し、9%増加した。
- この間、プロジェクトの数は世界全体で 285 件から 316 件に増加した。パイプラインには、完全に稼働中、建設中、承認済み、計画システム中、開発の初期段階など、あらゆる段階のプロジェクトが含まれる。
- これまでに、7か国15件のプロジェクトで245メガワットの浮体式風力発電が稼働している。ノルウェーが3件のプロジェクトで94MWと最も多く、英国が78MW（2件）で2位、中国が40MW（5件）でそれに続き、ポルトガルが25MW（1件）で4位、日本が5MW（2件）で5位となっている。
- 世界全体では、102MWが建設中（4プロジェクト）、7.3GWが承認済みまたは建設前段階（22プロジェクト）、21.6GWが計画システム内（15プロジェクト）、184GWが初期開発中またはリース申請中。
- イタリアは世界全体の16%（41.3GW）を占める最大のパイプラインを保有しているが、これらのプロジェクトのほとんどは開発の初期段階にある。米国も同様に、13%（35.3GW）で2位。英国は12%（33.1GW）で3位、スペインが9%（24.7GW）、スウェーデンが7%（18.2GW）と続く。



出所: [RenewableUK](#)のWebサイトから作成

【風力】関連記事詳細 (1/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|-------------------------------|------------|--|--|
| 1 | 国際 | IEC/TC88(風力発電システム)で開発される規格リスト | 2024/10/31 | <p>IEC/TC88(風力発電システム)は、風力発電システムの設計、品質保証、および認証のための技術的側面の基礎を提供することを意図して、風力タービン、陸上および洋上風力発電所、およびエネルギーが供給される電力システムとの相互作用を含む風力エネルギー生成システムについて規格開発を行っている。TC88においては、5つのワーキンググループ15のプロジェクトチームの構成により、IEC61400シリーズとして規格開発が進められており、2024/10/30現在、発行済みの有効な規格は55件。 開発中の規格は36件。発電システム本体や部品設計に関わる規格(IEC61400-1～6)を初めとして、多岐に渡っている。2024年度に新規発行予定のIEC規格(TS:技術仕様書は除く)は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IEC 61400-3-2 (風力発電システム - パート 3-2: 浮体式洋上風力タービンの設計要件) • IEC 61400-4 (風力発電システム - パート 40: 電磁両立性 (EMC) - 要件と試験方法) • IEC 61400-8 (風力発電システム - パート 8: 風力タービンの構造コンポーネントの設計) • IEC 61400-9 (風力発電システム-パート9 : 風力タービンの確率的設計対策) • IEC 61400-15- 1 (風力発電システム - パート 15- 1 :風力発電所の敷地適合性入力条件) • IEC 61400-24 (風力発電システム - パート 24: 雷保護) • IEC 61400-26-4 (風力発電システム - パート26-4: 風力発電システムの信頼性) • IEC 61400-28 (風力発電システム - パート28:風力発電資産のライフサイクル管理と寿命延長) • IEC 61400-50-4 風力発電システム - パート 50-4:風力測定のための浮体式ライダー システムの使用) <p>なお、ISOにおける風力発電に関連規格としては、以下の規格が発行されている。</p> <p>ISO/TC 108/SC 5/WG 16 (風力タービンの状態監視と診断)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO 16079-1:2017(風力タービンの状態監視と診断 - パート 1: 一般ガイドライン) • ISO 16079-2:2020(風力タービンの状態監視と診断 - パート 2: ドライブトレインの監視) <p>ISO/TC8(船舶と海洋技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO 29400:2020(船舶および海洋技術 - 洋上風力エネルギー - 港湾および海洋運営) • ISO 29404:2015(船舶と海洋技術 - 洋上風力エネルギー - サプライチェーンの情報フロー) | IEC https://www.iec.ch/dyn/www/?p=103:7:511359817673177:::FS_P_ORG_ID:1282 |

【風力】関連記事詳細 (2/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|-----------|--|--|
| 2 | 米国 | NOWRDCは、浮体式洋上風力発電の推進に1,060万ドルを計画 | 2024/6/17 | 全米洋上風力研究開発コンソーシアム (NOWRDC) は、港湾や船舶の革新、送電技術、環境モニタリング用の無人水中探査機を通じて浮体式洋上風力発電を推進し、米国全土での技術展開を加速させる画期的なプロジェクトに1,060万ドルの資金を提供する予定。 NOWRDC 募集 4.0 は、米国エネルギー省 (DOE) の風力エネルギー技術局 (WETO)、カリフォルニア州エネルギー委員会、ニューヨーク州エネルギー研究開発局、マサチューセッツ州クリーンエネルギーセンター、海洋エネルギー管理局の支援を受け、浮体式洋上風力発電技術に革命を起こすことを目指している。 | DOE https://www.energy.gov/eere/wind/articles/106-million-planned-advance-floating-offshore-wind |
| 3 | 米国 | ACPIは、米国で2030年までに14GWの導入により、56,000人の雇用を創出する見通しを発表 | 2024/7/9 | 米国クリーンパワー協会 (ACP) は、2024年洋上風力発電市場レポートを発表した。このレポートによるACPと、クリーンパワー業界は2030年までに洋上風力発電プロジェクトに650億ドルを投資し、米国で56,000人の雇用を支えると予測されている。現在、オフテイク契約が締結されているプロジェクトは12ギガワット (GW) あり、その中には、Vineyard Wind、Revolution Wind、Coastal Virginia Offshore Wind で現在建設中の4GWが含まれる。 米国では37のリースで、現在56GWが開発中であり、これは2,200万世帯分の電力供給に相当する。市場アナリストは、2030年までに14GW、2033年までに30GW、2035年までに40GWの洋上風力発電が導入されると予測している。これらの見通しは、2027年末までに運用開始を目指す7.6GWの洋上風力発電プロジェクトが含まれる。 | ACP https://cleanpower.org/news/offshore-wind-to-invest-65-billion-and-create-56000jobs-by-2030/ |

【風力】関連記事詳細 (3/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--------------------------|-----------|---|---|
| 4 | ブラジル | 世界銀行、ブラジルの洋上風力開発のシナリオを発表 | 2024/7/18 | <p>ブラジルは、エネルギー需要を満たすのに寄与する豊富な天然資源を保有している。ブラジルは世界最高の洋上風力資源も有している。この洋上風力資源は、活発で、安定しており、地理的に多様で、需要の中心地に近い場所にある。これらの要因はすべて、洋上風力がブラジルの長期的なエネルギーミックスで重要な位置を占める可能性があることを示唆している。同時に、最初の洋上風力プロジェクトは陸上プロジェクトよりも発電コストが高く、ブラジルがヨーロッパの既存市場や南北アメリカの新しい市場と競争するには、国内の発電能力を大幅に増強する必要がある。</p> <p>ブラジルは大規模な洋上風力発電の開発を目指す理由として、気候変動緩和、エネルギー安全保障、電力価格の手頃さ、経済発展といった目標も達成しながら、ブラジルのエネルギー需要への長期的な道筋に貢献がある。このレポートは、技術、商業、経済、環境、社会の観点から、さまざまな洋上風力発電開発の道筋に関連する課題と機会を概説することで、その意思決定に役立つ情報を提供することを目的としている</p> | 世界銀行 https://openknowledge.worldbank.org/entities/publication/a989e1c2-5240-4e01-a4dd-3c4c5725e36a |
| 5 | イギリス | イギリス政府、陸上風力産業タスクフォースを設置 | 2024/7/31 | <p>陸上風力発電産業タスクフォースは、2030年以降に陸上風力発電の導入を加速するために必要な措置を特定し、実行するために設立された。</p> <p>タスクフォースは、政府、業界、規制当局、その他の関連団体の主要組織を集め、2030年の導入目標を達成するために必要な陸上風力発電の施策を推進する。タスクフォースの目的は次のとおり。</p> <p>①陸上風力発電開発者が直面する導入障壁を解消：具体的には、陸上風力発電プロジェクトの効率的かつ費用対効果の高い建設と運用を妨げている財務、規制、または政策上の課題がどこにあるかを特定する。</p> <p>②持続可能性の確保：陸上風力発電プロジェクトが地域環境や電力システム全体に及ぼす可能性のある影響を検討する。</p> <p>③利益を獲得する：継続的なコスト削減を促進し、英国のサプライチェーン、雇用、スキル、イノベーションへの投資を確実にする機会を特定する。</p> <p>④行動へのコミットメント：システム全体の関連団体を結集してコンセンサスを確立し、障壁を取り除き、持続可能性を確保し、利益を獲得するために必要な行動について合意する。</p> | イギリス政府 https://www.gov.uk/government/groups/onshore-wind-industry-taskforce#:~:text=Radically%20increasing%20onshore%20wind%20deployment,development%20to%202030%20and%20beyond. |

【風力】関連記事詳細 (4/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|--------|--|-----------|---|--|
| 6 | ドイツ、欧州 | EIBとドイツ銀行が欧州の風力エネルギーメーカーを支援 | 2024/7/31 | 欧州投資銀行（EIB）は、ドイツに拠点を置くドイツ銀行に5億ユーロの裏保証を付与することで、欧州の風力エネルギー機器メーカーを支援する50億ユーロの取り組みを開始した。この取引により、ドイツ銀行はEUの風力発電所への新規投資のために最大10億ユーロの銀行保証ポートフォリオを構築できるようになる。この取引は、欧州の風力産業全体の企業に対する商業銀行保証の提供を強化するために50億ユーロを提供するという2023年12月のEIB計画に基づく最初の業務である。この取り組みは、EU全体で健全で競争力のある風力エネルギーサプライチェーンを維持するために、欧州委員会が2023年10月に提示したEU風力発電パッケージの一部である。「風力発電の迅速な増強は、経済の脱炭素化に不可欠」とEIBのニコラ・ピア副総裁は述べた。「ドイツ銀行とともに、欧州での再生可能エネルギーの拡大を促進し、エネルギーの価格を下げ、持続可能で競争力のある欧州産業における雇用の保護と創出にも貢献する」 | EIB https://www.eib.org/en/press/all/2024-308-eib-and-deutsche-bank-to-boost-europe-s-wind-manufacturers?ref=WindEurope |
| 7 | 台湾 | Taipower の洋上風力タービンの運用効率（フェーズ1）で90%を超える | 2024/8/12 | タイパワー社の洋上風力発電の第一段階の実績について、今年4月以降、稼働効率が90%を超え続けており、今後は仕組みを確立し、育成していく。洋上風力発電運営保守センターは来年6月に完成し、長浜洋上風力発電運用保守港の開港と協力ができれば、運営保守効率が向上する。タイパワーは、洋上風力発電所の初期の商業化には環境に適応するため、初期の段階ではダウンタイムが長かった。その後徐々に整備を進め、2013年4月以降は安定して月間稼働率90%を超えている。運用・保守メーカーに関しては、Taipower が標準的な運用・保守メカニズムの確立を支援するために、日立が5年間の運用・保守契約を結んでいると指摘し、Taipower は今後も元のメーカーと技術移転や人材の育成について交渉を続けると述べた。運営・保守契約完了後は、自社の人員を活用して国内の洋上風力発電所に最適な運営・保守モデルを確立していきたいとしている。また、洋上風力発電運営保守センターは、コロナの影響で工事期間中の工事が滞り、鉄骨構造の建設期間が北東モンスーンの影響で延長が延期された。安全性と品質を考慮し、現在鋭意作業を進めており、来年6月に完成する予定だ。長浜運営保守港の開港と組み合わせることができれば、洋上風力発電の運用保守効率の向上に貢献できる。 | 台湾政府経済部 https://www.moea.gov.tw/MS/populace/news/News.aspx?kind=1&menuid=40&news_id=115655 |

【風力】関連記事詳細 (5/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|-------------------------------------|-----------|--|--|
| 8 | イギリス | セルティック海ネットワークにおける新世代の浮体式風力発電所の建設に着手 | 2024/8/13 | <p>クラウン・エステート社は、南ウェールズと南西イングランドの沖合のケルト海に新世代の浮体式風力発電所を建設することを目指した第5ラウンドの洋上風力リースの最新段階に着手した。</p> <p>2023年12月に初めて発表されたこの計画は、英国の世界をリードする洋上風力産業の新たな章を象徴するもので、新しい浮体式タービンが400万世帯以上に電力を供給するのに十分な再生可能エネルギー（最大4.5ギガワット）を生産する可能性がある。</p> <p>第5ラウンドは、新しい風力発電所を英国の電力網に接続するための合意された計画を伴って市場に投入される最初のリースラウンドでもあり、電力システム運用者（ESO）は、セルティック海ネットワーク設計の推奨事項を発表した。2024年8月8日に開始されたリースプロセスの第2フェーズでは、入札者が新しい風力発電所の実現計画と、その計画が陸上コミュニティへの幅広い社会的および経済的利益の提供にどのように役立つかについての詳細を策定する。これは、海洋環境への影響が適切に管理されるようにするための、クラウンエステートによる一連の評価と継続的な調査に続くものである。</p> | Crown Estate https://www.thecrownestate.co.uk/news/floating-wind-farms-next-phase |
| 9 | 韓国 | 韓国が洋上風力発電入札ロードマップを発表 | 2024/8/19 | <p>Asian powerによると、韓国産業通商資源部（MOTIE）は、再生可能エネルギーの流通拡大とサプライチェーンの強化に向けた同国の取り組みを強化することを目的とした韓国の洋上風力発電競争入札ロードマップを発表した。</p> <p>国内の風力発電設備は2030年までに18.3GWに達すると予想されており（第11次電力需給基本計画）、今後は大規模な洋上風力発電プロジェクトについて競争入札が必要となる状況である。</p> <p>ロードマップによれば、風力発電プロジェクトの競争入札は、当初の第4四半期（Q4）から毎年第2四半期に前倒しされ、必要に応じて第4四半期に追加入札の通知が発表される。</p> <p>同省は、韓国は2024年後半から2026年前半にかけて、約7～8GW相当の洋上風力発電の入札を開始すると発表した。</p> | Asian Power https://asian-power.com/project/news/south-korea-unveils-offshore-wind-bidding-roadmap |

【風力】関連記事詳細 (6/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|-------|--------------------------------|-----------|--|--|
| 10 | 米国 | ローレンス・バークレー国立研究所が陸上風力報告書発表 | 2024/8/22 | <p>バークレー研究所の2024年版陸上風力市場レポートでは、米国の陸上風力エネルギーに関するデータと傾向の最新の概要が提供されている。</p> <p>風力発電は引き続き技術の進歩、堅調なパフォーマンス、魅力的な価格が見られる。IRA法により、今後数年間で国内製造能力の拡大と導入の回復が見込まれ、新たな市場動向が期待される。新しいレポートの主なハイライトは次のとおり。</p> <p>米国の風力発電の導入は2023年は、合計6.5ギガワット（GW）で、投資額は108億ドル。風力エネルギーは米国の電力供給の10%を占め、南西部電力プールでは37%を占めている。2023年末時点で、米国には合計150GWの風力発電が設置された。過去最高の366GWの風力発電が送電相互接続を求めている。</p> <p>風力タービンは大型化を続けており、過去数十年間の発電所の性能向上は、2023年には、新たに設置されたタービンの98%に直径115メートル以上のローターが採用されている。</p> <p>風力エネルギーの価格は上昇しているが、購入者にとっては依然として魅力的である。風力発電の購入契約価格は2018年頃から上昇傾向にあり、最近では地域やその他の詳細に応じて20ドル/MWh未満から40ドル/MWh以上までの範囲となっている。連邦政府の税制支援によって可能となったこれらの価格は、最近の太陽光発電の販売価格やガス火力発電の将来の燃料コストの予測と同程度である。</p> | ローレンス・バークレー国立研究所 https://emp.lbl.gov/wind-technologies-market-report/ |
| 11 | ノルウェー | DNVが風力タービンの負荷と敷地条件に関する新しい基準を導入 | 2024/9/3 | <p>DNVは、風力タービンの負荷計算とサイト評価に関する新しい包括的な規格を発表した。この規格には、サイト条件の評価と、支持構造を含む風力タービンへの負荷の確立に関する要件、原則、ガイドラインに関する詳細な指示が含まれている。</p> <p>DNVは、風力タービンの負荷計算と現場条件評価に関連する課題が増大していることを認識し、陸上と海上の両方の用途に対応する新しい標準DNV-ST-0437の発行に着手した。この標準には、IEC標準の強化が含まれている。その内容は、風の外挿、熱帯低気圧、海氷/湖氷、地震活動、船舶の衝突が含まれる。機械学習ベースの代理モデル、風力タービンのクラスタリング方法、確率ベースの設計原則など、負荷モデリングの高度な方法論も含まれている。</p> <p>DNVのキム・サンドガード・モルク氏は次のように述べている。「厳格な業界標準は、風力タービンの安全性、信頼性、パフォーマンスを確保する上で不可欠である。これらの標準により、メーカー、開発者、および金融機関は設計を評価し、情報に基づいた意思決定を行ってプロジェクトを成功に導くことができる。DNV-ST-0437は、最高レベルの安全性とパフォーマンスを維持することで風力エネルギー業界の継続的な成長と成功に貢献することを目指す」</p> | DNV https://www.dnv.com/news/dnv-introduces-new-standard-for-wind-turbine-loads-and-site-conditions/ |

【風力】関連記事詳細 (7/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|------------------------------|-----------|---|--|
| 12 | イギリス | 英国の新しい洋上風力試験施設に専門のリード請負業者が選定 | 2024/9/24 | <p>オフショア再生可能エネルギー (ORE) カタパルトは、新しいブレードのテストとアップグレードされたドライブトレイン テスト施設の開発をサポートする業者として 2 つの専門企業を決定した。</p> <p>5月に発表されたこの計画により、英国は洋上風力発電の技術開発の最前線に留まることになる。UKRI からの8,560万ポンドの資本資金により、カタパルトは試験施設の拡張とアップグレードが可能となり、英国における次世代の風力タービンの進化が可能になる。</p> <p>エンジニアリングと建築の分野で専門サービスを提供する大手多国籍企業である IDOM は、次期ブレード試験規格 IEC61400-23 の要件を上回るように設計された認証試験を提供する新しい 150 m ブレード試験施設の建設を主導する。</p> <p>高効率推進およびドライブトレイン技術システムを製造するドイツのRENK Test System GmbHは、カタパルトのプライスにあるドライブトレイン施設に新しいテストリグを設置し、容量を15MWから当初の23MWに増加させる予定。ブレードとドライブトレインの能力は両方とも、将来の業界の需要を満たすために、それぞれ 180 m と 28 MW までさらに拡張できる能力を備えている。</p> <p>ORE Catapult の技術開発ディレクター、トニー・クイン氏は次のように語っています。「Catapult の検証機能のアップグレードは、風力タービン技術開発への厳格なアプローチを促進するために業界が強く必要としている。堅牢な調達プロセスを経て、このプロジェクトの建設前段階で IDOM および RENK と協力し、2 つの重要なプロジェクトを並行して実現する検討をする」</p> | <p>ORE(イギリスの研究機関)</p> <p>https://ore.catapult.org.uk/media-centre/press-releases/specialist-lead-contractor-selected-for-new-uk-offshore-wind-testing-facilities</p> |
| 13 | 米国 | BOEM、風力発電プロジェクトの建設に向けた規制緩和 | 2024.10.1 | <p>海洋エネルギー管理局 (BOEM) は、2つの風力発電施設を建設・運営するアトランティック・ショアーズ・サウス・プロジェクト計画の承認を発表した。これは、2030年までに30ギガワットの洋上風力発電容量を導入するというバイデン・ハリス政権の目標を推進するものである。これは、内務省の2024年7月の決定記録に従って、BOEMから必要とされる最終的な承認である。</p> <p>アメリカクリーンパワー協会 (ACP) は、内務省と海洋エネルギー管理局 (BOEM) がニュージャージー州沖のアトランティックショアーズ 1 および 2 (アトランティックショアーズ サウス) 洋上風力発電プロジェクトに関連する規制緩和を行い、その建設および運用計画を承認したことを受けて歓迎の声明を出した。</p> | <p>海洋エネルギー管理局 (BOEM)</p> <p>https://www.boem.gov/newsroom/press-releases/boem-approves-construction-and-operations-plan-atlantic-shores-south</p> |

【風力】関連記事詳細 (8/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|---|-----------|--|--|
| 14 | 米国 | DOE、風力エネルギー技術のリサイクル改善に2000万ドルの資金提供を発表 | 2024/10/1 | <p>米国エネルギー省 (DOE) の風力エネルギー技術局 (WETO) は、IRA法から2,000万ドルを風力タービン技術リサイクル資金の提供を発表した。この取り組みは、米国が風力エネルギー技術のリサイクル性を向上させる技術ソリューションを開発するのを支援することを目的としている。特に、風力タービンプレードやナセルに使用される繊維強化複合材や、風力タービン発電機に使用される希土類元素磁石など、リサイクルが難しい材料を対象としている。この取り組みは、風力エネルギー材料の持続可能性を高め、国内サプライチェーンを強化するのに役立つ。</p> <p>現在、風力タービンの材料の質量の 90% 以上は経済的にリサイクル可能であり、残りのリサイクルされていない材料は、主に繊維強化複合材料または発電機に使用されている希土類元素磁石などの重要な材料を大量に含む金属部品である。この問題の技術課題、サプライチェーン上の課題に対処し、より簡単にリサイクルおよび再利用できる設計の作成を加速し、製造廃棄物を含む風力タービンからの材料をコスト効率よく、持続可能かつ効率的にリサイクルおよび回収するための開発を加速する。</p> | DOE https://www.energy.gov/eere/wind/articles/doe-announces-intent-fund-20-million-improve-recycling-wind-energy-technologies |
| 15 | 国際 | 浮体式洋上風力発電プロジェクトの世界的なパイプラインは過去12か月間で244ギガワットから266GWに拡大 | 2024/10/8 | <p>RenewableUKの新しいレポートによると、浮体式洋上風力発電プロジェクトの世界的なパイプラインは過去12か月間で244ギガワットから266GWに拡大し、9%増加した。</p> <p>この間、プロジェクトの数は世界全体で 285 件から 316 件に増加した。パイプラインには、完全に稼働中、建設中、承認済み、計画システム中、開発の初期段階など、あらゆる段階のプロジェクトが含まれる。</p> <p>これまでに、7か国15件のプロジェクトで245メガワットの浮体式風力発電が稼働している。ノルウェーが3件のプロジェクトで94MWと最も多く、英国が78MW (2件) で2位、中国が40MW (5件) でそれに続き、ポルトガルが25MW (1件) で4位、日本が5MW (2件) で5位となっている。</p> <p>世界全体では、102MWが建設中 (4プロジェクト) 、7.3GWが承認済みまたは建設前段階 (22プロジェクト) 、21.6GWが計画システム内 (15プロジェクト) 、184GWが初期開発中またはリース申請中。イタリアは世界全体の16% (41.3GW) を占める最大のパイプラインを保有しているが、これらのプロジェクトのほとんどは開発の初期段階にある。米国も同様で、13% (35.3GW) で2位。英国は12% (33.1GW) で3位、スペインが9% (24.7GW) 、スウェーデンが7% (18.2GW) と続く。</p> | RenewableUK https://www.renewableuk.com/news-and-resources/press-releases/global-floating-wind-project-pipeline-grows-by-9-over-last-12-months/ |

【風力】関連記事詳細 (9/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) | |
|----|----------|--|------------|--|---------------------|---|
| 16 | イギリス | ノーススター、浮体式洋上風力発電向け次世代SOVの提供に向けて業界提携を開始 | 2024/10/9 | <p>英国の再生可能エネルギー業界における大手サービスオペレーション船 (SOV) 運営会社である North Star は、浮体式風力発電の最も差し迫った課題の 1 つである浮体式洋上風力発電所向けにカスタマイズされた高性能の運用保守船の提供を解決することを目的とした大規模な業界連携を開始した。</p> <p>同社は、MO4、Principle Power、SMST、VARD、Voith Group と覚書を締結し、業界の専門家による専用ワーキンググループを設立して、新しい SOV コンセプトの設計とテストを迅速に進めることに取り組む。6 つの組織は協力して、ScotWind リース ラウンドで受注した 17GW の浮体式プロジェクトなど、商業規模のプロジェクトのニーズを満たす詳細で高性能な船舶設計の開発に取り組む。</p> <p>洋上風力発電が海岸から遠く離れた浮体式風力タービンを備えたより深い海域へと移行するにつれ、この分野は効率的かつ費用対効果の高い方法で物流および運用上の課題を解決しなければならない。業界は従来の SOV から浮体式風力プラットフォームへの移送を安全に完了できることを確認しているが、船舶とプラットフォームの両方が動的かつ移動している場合の移送にはさらに改善の余地がある。</p> <p>このコラボレーションは、安全性、パフォーマンス、効率性に関する新しい業界ベンチマークを設定する SOV 設計を提供することで、この機会を最大限に活用することを目指している。</p> | North Sea | https://www.northstarshipping.co.uk/news/north-star-initiates-industry-partnership-to-deliver-next-generation-sov-for-floating-offshore-wind |
| 17 | ノルウェー、国際 | DNV、洋上風力タービンの地盤調査に関する業界共同プロジェクトを開始 | 2024/10/10 | <p>浮体式風力発電プロジェクトが世界的に急増し、商業規模に達する軌道に乗っている中、DNVの2024年エネルギー転換展望レポートによる中程度の推定では、10～20MWの浮体式タービンを使用して2030年までに7GW強が設置されると予測されている。</p> <p>GIFT JIP を通じて、DNV と業界パートナーは、設置と現場でのパフォーマンスのための設計土壌プロファイルを安全に導出できるようにする現場調査 (SI) に関する推奨プラクティスの開発に取り組む。</p> <p>「業界が大規模なオフショア浮体の開発という新たな課題に取り組み始める中、ノウハウを結集することは非常に重要。信頼性の高い設計、標準化、位置維持システムの設置を促進するために、プロジェクトのタイムライン内で現場の土壌特性を最適化する必要がある」と、DNVのJIPプロジェクトスポンサーであるアレハンドロ・ポロビア氏は述べた。</p> <p>新しい実践は、より実用的な環境クラスのアプローチを利用して、位置固有の (アンカー/基礎) 現場テストから脱却することを目指す。この作業は、プロジェクトのタイムラインに合わせて、地質物理学および地質工学的な SI と最先端の地盤モデリングの実用的なアプローチを通じて実施され、地盤条件に関する十分な知識を確保することで、信頼性の高いアンカー設計を促進し、設計の柔軟性に対応し、設置のリスクを軽減する。</p> | DNV | https://www.dnv.com/news/dnv-launches-joint-industry-project-on-ground-investigations-for-offshore-wind-turbines/ |

【風力】関連記事詳細 (10/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|----------|--------------------------------|------------|--|--|
| 18 | ノルウエー、国際 | DNV、浮体式変電所共同産業プロジェクトの第2フェーズを開始 | 2024/10/15 | <p>DNV は、成長を続ける浮体式風力発電セクターにおける洋上変電所の基準を確立することを目的とした浮体式変電所共同業界プロジェクト (JIP) のフェーズ 2 を開始した。この新しいフェーズは、ガイドラインの改良と技術ギャップの解消に重要な役割を果たすことになり、現在では業界大手 19 社が参加している。この共同作業のフェーズ 1 では、送電事業者、開発者、部品サプライヤー、EPC 請負業者、造船所など、幅広い関係者が結集し、浮体式洋上変電所特有の課題に取り組んだ。</p> <p>洋上変電所は浮体式洋上風力発電の拡大に不可欠であり、複数のタービンを接続し、再生可能エネルギーを送電網に供給するハブとして機能する。しかし、これらの変電所の設計と実装には、浮体構造物の動きに耐えられる高電圧動的ケーブルや電気システムの必要性など、独特の課題がある。JIP は、技術と規制のギャップに対処することで、風力産業がその可能性を最大限に発揮し、世界的なエネルギー転換を前進させることを支援することを目指す。</p> <p>JIP のフェーズ 2 では、高電圧機器、動的ケーブル、海洋システムと運用のより広範な側面などの重要なコンポーネントに重点を置き、浮体式変電所に適用可能な世界初の規格である DNV-ST-0145 の更新に寄与する。</p> | DNV https://www.dnv.com/news/dnv-launches-phase-2-of-floating-substation-joint-industry-project-expanding-global-industry-collaboration/ |
| 19 | ドイツ | ドイツ政府国内風力産業向け対策書を提出 | 2024/10/17 | <p>ロバート・ハベック連邦経済・気候保護大臣は、ヨーロッパの風力タービンメーカーおよびサプライヤーの代表者と、サイバーセキュリティ、公正な競争条件、依存関係の削減、風力産業における資金調達などのテーマで意見交換を行った。会合では、風力産業の代表者らは、市場規模を踏まえ、中長期的に国内の風力タービン需要を賄う決意を表明した。</p> <p>ハベック大臣は、ドイツとヨーロッパには強力な風力産業があり、この業界の競争力を維持し、ドイツとヨーロッパにおける将来の価値創造の条件が満たされるように、枠組みの条件を改善し続けなければならない、と述べた。</p> <p>会合において、国内風力産業の成長と価値創造に向けた施策文書が合意された。具体的には、次の 5 つのテーマに関する措置が合意された。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①風力タービンの (サイバー) セキュリティを強化する ②公正な国際競争条件を確保する ③永久磁石などの重要なコンポーネントへの依存を軽減します。 ④生産増強のための確実な資金調達 ⑤競争の歪みが生じた場合には公的資金を見直し、必要に応じて調整する。この一連の対策は、欧州の風力産業と国内の価値創造の強みを維持・拡大し、平等な競争条件を確保することを目的としている。 | 連邦経済・気候保護省 https://www.bmwk.de/Redaktion/DE/Pressemitteilungen/2024/10/20241017-massnahmenpapier-heimische-windindustrie.html |

【風力】関連記事詳細 (11/11)

| 番号 | 地域・国 | 情報記事・タイトル | 発行日 | 要旨 | 情報源 (機関・団体名/URL) |
|----|------|--|------------|--|--|
| 20 | 米国 | 米国エネルギー省と内務省、洋上再生可能エネルギー導入の持続可能性と信頼性向上に1,700万ドルを投資 | 2024/10/21 | <p>米国エネルギー省 (DOE) と内務省 (DOI) は、耐久性があり環境に配慮した米国の洋上風力エネルギーと海洋エネルギーの展開をさらに支援するため、総額約 1,700 万ドルの 14 件のプロジェクトを選定したことを発表した。これらのプロジェクトには、深海で稼働している浮体式洋上風力プラットフォームと海洋エネルギーコンバーターを所定の位置に維持する係留システムを向上させる技術進歩の研究が含まれる。プロジェクトには、定置式洋上風力の基礎の設置中に発生する騒音を軽減または回避するための研究も含まれる。</p> <p>この資金提供プログラムで選ばれた、浮体式洋上風力発電および海洋エネルギーシステム向けの信頼性の高い係留装置の概要は以下の通り。</p> <p>米国の洋上風力エネルギーの潜在能力の約 3 分の 2 は、海底に直接固定された現在の固定底式風力タービンの基盤では深すぎる海域に存在し、代わりに浮体式プラットフォームが必要。これらのプラットフォームと海洋エネルギーシステムは、深海や荒れた海でも動作するため、海底に固定するには専門的で信頼性の高い技術が必要。このトピック領域のプロジェクトでは、浮体式洋上風力および海洋エネルギー用の係留システム設計に関する情報を提供する特定の短期的なニーズに対処する。</p> | DOE https://www.energy.gov/eere/articles/uss-departments-energy-and-interior-invest-17-million-enhance-sustainability-and |